

授業科目(ナンバリング)	日本国憲法(AD213)			担当教員	星野 秀治		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
日本国憲法の基本的な内容について理解する。 日本国憲法で保障されている基本的人権について具体的な事例を通じて検討することを通じ、憲法が最も大切にしている「個人の尊重」の理念について理解する。 日本国憲法が私たちの生活や社会とどのようなかかわりを有しているのかについて理解する。							①④⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	日本国憲法の基本的な内容について理解する。				・授業内小レポート ・小テスト ・定期試験	5% 5% 20%	
情報収集、分析力	社会で生じている人権問題について、自分なりに考え、判断できる。				・小レポート ・定期試験	10% 40%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	日本国憲法の存在に関心を持ち、私たちと日本国憲法のかかわりについて認識できる。				・授業内小レポート ・定期試験	10% 10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験のほか、小レポートを1回、小テストを1回実施し、これらを総合的に勘案して評価を行う。フィードバックは、レポートの内容については集約して授業中に紹介する形、小テストについてはその場で各自による採点と復習を兼ねた解説を実施する形で行う。							
授業の概要							
講義形式を基本とするが、折に触れて受講者と議論しながら、日本国憲法やそれに関する諸問題について一緒に考える機会を設けたい。 授業は、指定するテキストと配布するレジュメを併用して行う。 授業では、みなさんが日本国憲法について初めて学ぶことを念頭に置き、具体的な裁判例や、実際に生じている事件などを題材にしながら、具体的かつ身近に日本国憲法が理解できるようにしたい。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：大林啓吾・小林裕紀編著『ケースで学ぶ憲法ナビ』みらい、2017。 参考書：斎藤一久・堀口悟郎編『図録■日本国憲法』、弘文堂、2019。 指定図書：参考書と同じ。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
・予習として、テキストの該当箇所を目を通しておくこと。流し読み程度で構わない。復習は、テキスト該当箇所の問題について理解し、正答できるようにしておくこと。 ・日本国憲法というと、堅苦しく、何だか縁遠いもののように感じるかもしれない。だが、実際には、私たちにとって非常に身近で重要なものである。その意味で、どの学科で学ぶにしても、日本国憲法について知っておくことは非常に重要である。常に自分と憲法との関係について考えながら授業に臨んでほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 序章 憲法を学ぶ前に	・授業の進め方、授業の予定について説明する。 ・法とは何か、憲法とは何かということについて入門的な説明を行い、法学が専攻でないみなさんが日本国憲法について学ぶことの意味について考える。	予習：序章を読む 復習：憲法を学ぶ必要について、考えをまとめておく
2	第1章 学校生活と憲法 1 自己決定権、2 学問の自由	自己決定権と学問の自由について考える。	予習：第1章1, 2を読む 復習：該当箇所の問題復習
3	第1章 学校生活と憲法 3 思想・良心の自由 4 信教の自由	思想・良心の自由、信教の自由について理解する。	予習：第1章3, 4を読む 復習：該当箇所の問題復習
4	第1章 学校生活と憲法 5 教育を受ける権利	教育を受ける権利について理解する。	予習：第1章5を読む 復習：該当箇所の問題復習
5	第2章 プライベートと憲法	プライバシー権と表現の自由、集会の自由について理解する。	予習：第2章を読む 復習：該当箇所の問題復習
6	第3章 友達、家族や恋人との関係 1 人権享有主体 2 法の下 の平等 3 両性の平等	人権享有主体と法の下の平等について理解する。	予習：第3章1, 2, 3を読む 復習：該当箇所の問題復習
7	第3章 友達、家族や恋人との関係 4 人身の自由	人身の自由と適正手続について理解する。	予習：第3章4を読む 復習：該当箇所の問題復習
8	第4章 働くことと未来 1 職業選択の自由 2 財産権	経済的自由権について理解する。	予習：第4章1, 2を読む 復習：該当箇所の問題復習
9	第4章 働くことと未来 3 生存権 4 労働基本権	社会権、生存権について理解する。 小テスト予定	予習：第4章3, 4を読む 復習：該当箇所の問題復習
10	第5章 選挙から国会・内閣へ	参政権、選挙制度、国会、内閣について理解する。	予習：第5章を読む 復習：該当箇所の問題復習
11	第6章 裁判と裁判所	裁判所と裁判員制度、司法権の限界、違憲立法審査権について理解する。	予習：第6章を読む 復習：該当箇所の問題復習
12	第7章 世界の平和に貢献するために	憲法9条と日本の安全保障、集団的自衛権と安全保障について理解する。	予習：第7章を読む 復習：該当箇所の問題復習
13	第8章 財政と地方自治	財政と地方自治について理解する。	予習：第8章を読む 復習：該当箇所の問題復習
14	第9章 憲法の歴史 第10章 天皇と国民主権	憲法の歴史と立憲主義、天皇と国民主権について理解する。	予習：第9, 第10章を読む 復習：該当箇所の問題復習
15	まとめと、憲法のこれから	授業のまとめを兼ねて、これまでの内容を振り返りながら日本国憲法の今後について検討する。	予習：配布プリントをまとめ持参する 復習：全体の振り返りをする
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備